

令和6年度 奈良女子高等学校(通信制課程) 学校評価報告書

建学の精神	三敬銘【敬身、敬学、敬事】 敬身 … 自分らしさを大切に 敬学 … 生き生きと学び 敬事 … 誠実な人になろう	
スクール・ミッション(学校の使命)	自分らしい人生を実現するための資質・能力の育成	
スクール・ポリシー	アドミッション・ポリシー (入学者受け入れに関する方針)	目標に到達するためには、始終小さいことに気をつけて、5つの間違いは3つに減らし、3つの間違いは1つに減らすような学び方ができる人 これに加えて ① 好きなこと、得意なことがあり、それを伸ばしたい人 ② 様々なチャレンジを楽しみたい人 ③ 自分が他人にしてもらいたいように他人にすることができる人 (※言い換えると、他人の嫌がることは絶対にしない人)
	カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)	【目指す学校像】・本当にやりたいこと見つかる学校 ・大切なことを経験を通して学べる学校 目指す学校像を実現するために、好きなこと・得意なことを伸ばす、自分では気づいていない才能を見つけて伸ばす。それに加えて「未知への挑戦」として、多様な学びができる本校通信制課程の活動に取り組むことで『自分らしい人生』が見えてくると考えています。実施にあたって、 ① レポート学習 ② スクーリング ③ テスト ④ 製菓・調理体験、デザイン講座 ⑤ 校外学習、修学旅行 などに重点的に取り組んでいます。
	グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)	世界で注目が高まる「Well-being(ウエルビーイング)」。幸せで、肉体的にも精神的にも、そして社会的にも、すべて満たされた状態にあることをいいます。自分らしい人生とは、ウエルビーイングな人生です。その実現のために育成を目指す資質・能力は 創造的思考力…つなぐ力 (異なるアイデアや視点を結びつけ、新しい価値や解決策を生み出す能力。人と人をつなげる能力も含まれます。) 社会人基礎力…◇ 前に踏み出す力 ◇ 考え抜く力 ◇ チームで働く力

学校評価アンケートは、生徒・保護者・教職員の3者に分けて実施、各質問項目に次の4段階で評価した。

4 とても当てはまる 3 やや当てはまる 2 あまり当てはまらない 1 まったく当てはまらない ※ 保護者は、左記選択肢に「0 判断できない」を含めて実施
以下の表の生徒・保護者・教員の%の数字は、全体に対する肯定的な回答(4または3と回答)の割合。

領域	アンケート項目(生徒用)	生徒	保護者	教職員	自己評価
1 学校経営	① 『建学の精神』・『スクール・ミッション』や『スクール・ポリシー』についてわかりましたか。	93%	75%	100%	A
	⑮ 学校は、ホームページ、スラック、プリントにより適切な情報発信を行っていますか。	96%	86%	100%	A
2 アドミッション・ポリシー(入学者受け入れに関する方針)	② 目標に向けて、小さな努力を続けていますか。	71%	82%	80%	B
	③好きなこと、得意なことがあり、それを伸ばそうとしていますか。	75%	67%	80%	B
	④ 様々な取組に積極的に挑戦していますか。	63%	61%	80%	B
	⑤ 他人の嫌がることは絶対にしていませんか。	96%	96%	100%	A
3 カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成及び実施に関する方針)	⑥ 本当にやりたいことが見つかりましたか。	45%	44%	80%	C
	⑦ スクーリング、レポート学習、テストの通信制課程の学び方がうまくできていますか。	82%	86%	100%	A
	⑧ 製菓・調理体験、デザイン講座などに積極的に取り組んでいますか。	86%	74%	100%	A
	⑨ 修学旅行や校外学習など行事に主体的に参加していますか。	88%	75%	100%	A
4 グラデュエーション・ポリシー(育成を目指す資質・能力に関する方針)	⑩ 学校での取組を通して、創造的思考力(つなぐ力)が、前よりついたと思いますか。	77%	70%	80%	B
	⑪ 学校での取組を通して、社会人基礎力(前に踏み出す力)が、前よりついたと思いますか。	79%	74%	100%	A
	⑫ 学校での取組を通して、社会人基礎力(考え抜く力)が、前よりついたと思いますか。	80%	67%	80%	B
	⑬ 学校での取組を通して、社会人基礎力(チームで働く力)が、前よりついたと思いますか。	73%	60%	60%	B
	⑭ 自分の今の状態は、well-being(ウエルビーイング)といえますか。	71%	60%	100%	B
5 生徒指導	⑯ 学校は、いじめ防止基本方針にのっとり、生徒のいじめの未然防止や早期発見に努め、適切に対応していますか。	95%	79%	100%	A
6 進路指導	⑰ 学校は、適切な情報提供や面談などをとおして、生徒に細やかな進路指導を行っていますか。	95%	93%	80%	A
7 人権教育	⑱ 学校は、生徒の人権尊重意識を高め、豊かな人間関係づくりに取り組んでいますか。	89%	86%	80%	A
8 施設管理	⑲ 学校は、施設・設備を点検管理し、教育環境の整備に取り組んでいますか。	91%	74%	40%	B
9 保健・安全指導	⑳ 学校は、生徒の健康管理、地震・火災など災害時の安全管理に取り組んでいますか。	95%	65%	60%	B
10 教職員のみ	本校は、分掌・コース・学年、教科等が連携しながら、教育活動に取り組んでいる。			60%	B

自己評価の方法

手順1 生徒・保護者・教職員の三者について、肯定的な回答(4または3)の割合を3で除して平均を算出する。

手順2 手順1によって得られた点数について、80%以上であれば「A」、60%以上80%未満であれば「B」として、「自己評価とした。

次年度に向けての改善策

1 学校経営	『建学の精神』・『スクール・ミッション』・『スクール・ポリシー』について、よりわかりやすい資料を学校ホームページに掲載し、周知に努める。
2 アドミッション・ポリシー	入試関連資料・行事において明示し、入学希望者に周知を図る。また、入学後も節目ごとに確認を行う。
3 カリキュラム・ポリシー	添削指導と面接指導をこなすだけでなく、自分らしい生活ができるよう目標を見つける機会を充実させる。令和7年度から導入する「放課後学習支援」との連携を図り、個々の生徒の支援を充実させる。
4 グラデュエーション・ポリシー	特別活動などにおいて、活動の目的を生徒に周知するとともに「振り返り」を実施し、その中でグラデュエーション・ポリシーの成長を可視化する。卒業後の追跡調査を試行し、どのような効果が上がっているか資料収集を開始する。
5 生徒指導	いじめ防止基本方針の周知を図る。アンケート調査に加えて、人間関係づくりや教育相談体制の充実を図り、未然防止や早期発見に努める。
6 進路指導	進路行事や個人面談の機会を増やし、最高最適な進路指導に努める。最新の情報を得るため教員の研修の機会を増やす。
7 人権教育	人権尊重の意識を高め、豊かな人間関係づくりにつながるコミュニケーションの取り方を学ぶ具体的なワークや取組を実施する。
8 施設管理	毎月の安全点検日に施設・設備の点検・管理を徹底する。ICT環境について快適に利用できるように計画的に整備する。
9 保健・安全指導	生徒の状況把握に努め、健康面・生活面に対して保健だよりなどを通して保健指導を行う。地震災害を想定した避難訓練、防災教育を充実する。
10 教職員のみ	通信制教員のチームワークを活かして、年次の枠を超えて協働できるように工夫する。校務のDX化に積極的に取り組む。